

令和8年度 校内研究全体構想

大野町小中学校教育の方針

- 一人一人に「生きる力」を育む指導
- 学校の教育目標の具現に徹する学校経営
- 生命尊重、規範意識の醸成に関する指導充実
- 「ふるさと大野」を愛する心と態度を育てる

大野町立西小学校教育目標

考える子 助け合う子 きたえる子
～人間性豊かな たくましい児童の育成～

目指す児童の姿

- ・言葉の意味や適切な言葉の使い方などの知識をもっている。
- ・文章を読んだり仲間と伝え合ったりして、自分の考えを深めて整理し、豊かに分かりやすく、書いたり話したりすることができる。
- ・ねらいを理解し、見通しをもって自ら進んで学ぶことができる。
- ・“言葉”の良さや伝え合う楽しさを実感し、進んで伝え合う活動に 取り組もうとする。

児童の実態

- 文章の中から大切な部分や問われている部分を読み取る力が身に付きつつある。
- 小集団で積極的に自分の考えや思いを話すことができる児童が増えてきている。
- 語彙力が弱く、表現する際に正確さや豊かさに欠ける面がある。
- 読み取ったことを基に自分の考えを文章でまとめる力が弱い。

令和8年度研究主題

**学習の見通しをもち、仲間とのかかわりを通して、
主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成**
～国語科の話し合い活動を取り入れた授業づくりを通して～

研究仮説

単元を通して付けたい力を明確にし、児童が見通しをもって主体的に学習活動に取り組む単元指導構想を工夫することで、児童は主体的に自分の考えをもつことができる。そして、その考えを仲間と伝え合う活動（交流活動）を意図的に位置づけることで、自分の考えを言葉を使って筋道立てて説明したり、複数の考えを統合したりすることができる児童が育成され、仲間との学びを通して確かな学力を身に付けることができる。

研究内容Ⅰ	研究内容Ⅱ
育成する資質・能力を明確にし、児童が見通しをもって、主体的に学習活動に取り組む単元構想の工夫	言葉を大切に伝え合い、主体的に仲間と学びを深め合える学習活動の工夫
① 単元で育成する資質・能力の明確化 ・願う姿や付けたい力を明確にした単元構想の工夫 ② ねらい、評価規準、単位時間の役割の明確化 ・学習の見通しをもたせる単位時間の在り方 ③ 単元を貫く課題の設定 ・興味、関心を高める導入の在り方 ・単元を貫く課題を常に意識させる学習環境 ・相手や目的を意識した出口活動の在り方	① 考えをもつ場の在り方 ・実態把握とそれを基にした支援の在り方 ・児童が自ら選択できるヒントの出し方の工夫（ICTの利用） ② 考えを伝え合い深める活動の在り方 ・目的に応じた交流の在り方（ICTの利用） ・話し合いの視点の明確化 ③ 自分の考えや学習の高まりを自覚し、次の学びへの意欲化を図るまとめの在り方 ・振り返りの観点の提示 ・資質・能力の高まりへの価値付けと、次の学びへの方向付け
【研究の基盤】 ・傾聴のある温かい学級づくり・ICTや小集団を活かした学習形態・話し方と聞き方の指導の充実 ・言葉のたからばこの活用・朝活動やスピーチの時間の充実・日常的な表現活動の場の設定（行事や他教科など） ・他教科における振り返りの時間の確保 <家庭学習> ・日記指導の工夫 ・音読指導の継続	

